

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ  
トゥー・ミー

# To Me

4

Apr 2016  
Vol.251



ときめき人

佐藤 健治さん

【特集】

## そばに

Zoom Up TOME 2016

工藤 開さん

【今月の表紙】

登米総合産業高校卒業式から

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

未曾有の大災害、東日本大震災から5年が過ぎた。これ以降、市ではさまざまな施策を展開し、復興に取り組んできた。また、自らの復興だけではなく、沿岸部の後方支援を官民協働で展開。

# そばに

多くの被災者を受け入れ、この地から共に復興に向けて歩んでいる。これまでの取り組みを通じて「復興」に向けて何が必要なのか考える。



2011年3月11日。あの日から5年が過ぎた。東日本大震災は、東日本のまちから、尊い命や幸せ、思い出、夢などを根こそぎ奪っていった。

戦後最大の災害となった東日本大震災。死者・行方不明者は、約2万人と、阪神・淡路大震災を大きく上回る。県内の死者・行方不明者は約1万5000人(16年3月8日現在)にも上る。未曾有の大災害は本市にも甚大な被害を与えた。人的被害は、死者28人、行方不明者4人、負傷者52人、住家被害は、全壊201棟、半

6つの公的避難所に、最大で6千人以上が避難した。

全てが想定外といわれた東日本大震災。これまでの想定は、大規模地震後、沿岸部に津波の被害が発生。被害のない内陸部が被災地を支援するというもの。しかし、それは全て覆された。あまりの被害の規模に、被災地がさらに被害の大きい被災地の支援に回った。沿岸部より被害が少ない本市は、古くから交流が盛んな南三陸町への後方支援を展開。また、後方支援の活動拠点として、国際緊

市は、南三陸町へ仮設住宅の敷地提供と二次避難所設置を申し出、被災した南三陸町民を受け入れた。閉校した学校施設などを開放し、6地区、11箇所避難所を設置。受け入れ準備は、配置された職員だけではなく、地域住民と協力して進められた。

避難所では地域民が被災者に対して、飾らない自然体で対応。何よりのもてなしに、両者の距離が縮まり、現在も交流が続いている。現在、市内の仮設住宅などには、南三陸町や石巻市などから、291世帯、684人(15年12月末現在)が入居し、徐々に人数は減っている。震災で膨大になった業務量に対応するため、11

## 復興と後方支援に全力を傾けた5年

壊1801棟、一部破損3364棟と過去最大。東和総合運動公園は、野球場やグラウンドが崩落、市内の道路は、あちこちでマンホールが飛び出し、通行止めになる路線が相次いだ。公共施設の被害総額は100億円を超えた。

震災直後から、水道・電気のライフラインがストップ。例年より寒さが厳しかったこの時期の停電は、市民に不安を与えた。順次復旧したが、最大で6日間停電していた地区もあった。このような状況から、市内でも避難者が続出。

急援助隊の野営場所の提供、緊急消防援助隊の各種活動などを支援した。

南三陸町への支援は震災直後から実施し、食料品や生活用品などを提供。本市を中継拠点に、全国から寄せられた支援物資を輸送した。また、市と各種団体が協力し「南三陸物資輸送ボランティア」事業を実施。行政だけではなく、市民や各種団体も一体となり「困ったときはお互いさま」の精神で、さまざまな支援活動を展開、それは現在も続いている。

市では震災以降「市東日本大震災復興対策本部会議」を設置し、復興計画や事業を管理してきた。復興計画について、おおよそめどが付いたことから、今後は第2次総合計画の将来像に向けて、発展的に各種事業へ取り組んでいく。

5年間は、市の復興と沿岸部の後方支援に取り組んできた。しかし、沿岸部の状況はまだまだ厳しい。今後も継続的な支援を展開していく。

▼表紙、本ページ下段に掲載したのは「Proud! Japan」(プラウドジャパン)のロゴマーク。「大震災の中でも周囲を気遣い、助け合う被災地の人たちや救援活動に励む人たちは日本の誇り。みんなで応援しよう」と復興への願いを込め、静岡県の広報担当者が始めた運動。



# 登米から 目指す復興

## 南方は「第2の古里」

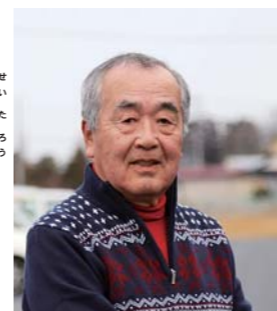
震災時は、妻と自宅におり、揺れの強さから大津波が来ると感じました。チリ地震の津波体験から近所の高齢者と共に、急いで高台に避難しました。

震災後4カ月間は、富谷町の長男夫婦のもとで生活しました。南三陸町内の仮設を希望しましたが、抽選に漏れ南方仮設へ。11年8月に入居しました。南方は、南三陸町全域からの入居、隣町とはいえない知らない土地、同じ町とはいえない知らない人たち、非常に不安でした。

不安は的中。入居者同士の付き合いは、なかなか進みません。それを助けてくれたのが登米市の皆さんでした。行事などでここに来た際に、皆さんが間にいることで、入居者同士の会話も活発に

なりました。登米市の皆さんが私たちの「心の接着剤」になったのです。多くの皆さんが、物心両面で支えてくれました。本当に感謝しきれません。中でも、足しげく通ってくれた、南方小の子どもたち。彼らの明るさと無邪気さが、私たちに前向きにしてくれました。あんなに不安だったここでの生活。今では心の底から「南方でよかった」と思っています。

現在、南三陸町内に自宅を建設、4月末には転居予定です。多くの皆さんの優しさに触れ、心が通いあった南方は私たちの「第2の古里」。復興への道のりはまだまだ遠く、時間がかかります。ちよっと疲れたときには「第2の古里」で休ませてください。



佐藤清太郎さん(72)  
南方2期仮設住宅自治会長

1943年南三陸町生まれ。高校卒業後、62年に郵政省へ入省。退職まで、本吉郡内の郵便局で、地域に根ざした業務に従事する。退職後、十の行政区長を、南方2期仮設住宅入居時から、自治会長を務める。本年4月末に南三陸町に帰郷予定。妻と2人暮らし

# 南方仮設 × 南方小



今年も子どもたちはコメを持って、南方仮設住宅を訪れました。子どもたちが届けているのは「思い」の詰まったコメ。その思いが伝わるからこそ、被災者の喜びは2倍にも3倍にもなるのだろう。

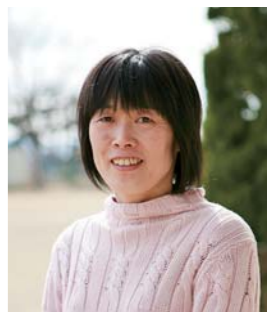
## 自分たちのできることを

11年3月11日は、私にとっても忘れられない日になりました。当時、志津川小に勤務しており、初めて津波を体験しました。被災直後、南方小への転勤が決まり、「志津川小の子どもたちに何もしてあげられなかった」という思いがありました。このようなことから、自分たちにできる支援は何かと考えていました。

当時受け持っていた5年生は、総合学習でコメづくりを予定していました。それまでは収穫したコメを、海外の恵まれた国に送っていました。しかし、目の前で大変な思いをしている南方仮設住宅の皆さんに贈れないかと考えました。子どもたちに意見を求めたところ「南三陸の人たちに贈ろう」とみんな賛成してくれました。

復興までは時間がかかります。これからも子どもたちと一緒に、被災者の皆さんを支える活動をしていきたいと考えています。

武田香代子さん(43)  
東和町米川第2区在住



1972年登米町生まれ。大学卒業後、95年から教員となり、2005年度から07年度まで入谷小、08年度から10年度まで志津川小でと、6年間南三陸町で教鞭をとった。11年4月から南方小へ転勤し現在に至る。家族は夫、長女、次女、三女、父、母の7人暮らし。

震災直後から、沿岸被災地の後方支援を展開してきた本市。南三陸町民の二次避難を受け入れ、仮設住宅が整備、多くの人たちが本市から復興を目指した。本市を縁につなげた人たちに話を聞いた。

# そばに

最近、この生活に慣れた人が多くなりました。しかし、仮設住宅に住んでいること自体、平時ではありませぬ。私は農業を営んでいます。第1次産業の収入が、震災前に戻ってやっと「復旧」ではないかと思えます。

震災時は、登米市で花を仕入れていました。激しい揺れだったので、大津波が来ると確信、すぐに家族へ連絡をしまし。結果的に、家族全員無事でした。しかし、全員と顔を合わせるまで1週間かかり、それまでは不安でした。

私たち中瀬地区民は、1次避難から仮設住宅に入居するまで、ずっと行動を共にしています。震災以降、出会った人たちに恵まれたおかげで、離れずにいられるのだと感じています。

2次避難は東和町鱒淵地区でした。自分たちで希望した場所でしたが、見知らぬ土地なので不安は大きかったです。しかし余計な心配でした。鱒淵地区の人たちは、腫れ物を触るではなく、最初からごく普通に接してくれました。同じ地域の仲間として、お付き合いしてくれました。逆の立場になったとき、同じことができるのだろうかと思っ。思っ。思っ。

また、鱒淵ではRQ市民災害ボランティアセンターの皆さんにも大変お世話になりました。鱒淵を離れてから4年以上たちますが、鱒淵、RQ、中瀬の交流は続いています。復興のその日が来たら、みんなで喜びを分かち合いたいと思います。

## 普段づきあい感謝



佐藤徳郎さん(64)  
中瀬地区自治会長

1951年南三陸町生まれ。妻が津山町出身で登米市との縁は深い。震災前はキクを栽培し、ハウス千坪、露地30%を経営。震災の影響でキク栽培を断念し、現在はハウスを建設し、ホウレン草を栽培。中瀬行政区長の職に就いて10年目。家族は妻、長男夫婦、次女の5人

# 中瀬地区 × 鱒淵地区

11年8月4日、鱒淵避難所退所式の際に、中瀬地区、RQ、鱒淵地区全員で撮影した記念写真。この写真は1米程度にまで引き伸ばされ、中瀬地区仮設住宅の集会所に飾られている。3団体の4カ月間の思いが詰まった最高の一枚。

## 中瀬は「同じ地域の仲間」

震災発生から3週間。身の回りの片づけにめどがついた頃、中瀬地区120人が旧鱒淵小に避難してきました。受け入れ前、地域の人たちと「被災者」とどのように接したらよいのか。何をしたら「復旧支援農園」として、中瀬、鱒淵地区民が共同で作業をしました。

この作業を通じて、心と体の健康増進、そして「同じ地域の仲間」という意識が高まり、現在の関係につながっています。

また避難生活を語る上で欠かせないのが「RQ」の皆さん。私たちが大変お世話になりました。現在、中瀬、RQ、鱒淵の有志で「ニューふるさと会」を結成。無理のない形で、細く長く付き合える活動をしていきます。この付き合いは一生ですから。



小野寺寛一さん(73)  
米川第9区行政区長

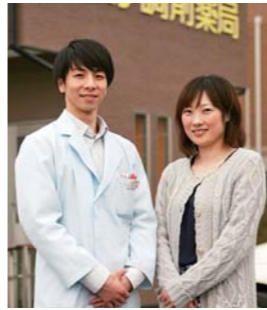
1942年東和町米川第9区出身。高校卒業後、家業の農業を継ぎ、青年団など地域活動に力を入れる。71年から東和町役場に勤務。特に、社会教育分野で力を発揮する。2002年に定年退職し、登米市議会議員を務めた。現在は県アーチェリー協会会長を務める。妻と2人暮らし

※ RQ市民災害ボランティアセンター：災害時に被災者を支援する東京都荒川区に本拠を置くボランティア団体



川谷さんとの出会いは運命

私たちは中学の同級生で、結婚することを前提に、11年に関東から南三陸町へ戻ってきました。翔子夫より一足早い11年1月に帰郷しました。戻ってすぐに南三陸町観光協会へ就職しました。健爾当時の仕事の都合で、こちらに戻ってきたのは11年3月10日です。翔子震災当日は職場の事務所にいました。警報が鳴ったので、すぐに近くの高台へ避難。両親、祖母は自宅にいたので、助からないかもしれないと思いました。健爾義父母が経営する薬局で仕事をしています。実家の祖父が心配になり、車で迎えに行きました。祖父はすでに避難していましたが、避難する途中、津波に流されましたが、祖母と二人何とか助かりました。翔子震災後、知り合いから「誰かのホームページに翔子ちゃんの写真が載っているよ」と教えてもらって、それが川谷さんのホームページでした。写真はすぐに保管場所を受け取ってきました。健爾写真が残っていると分かり、うれしかったです。今まで生きてきた証が残っていたのですから、残っていた写真2枚とも、川谷さんが見つけてくれたことに運命を感じています。川谷さんは私たちにとって特別な存在です。先日長男が1歳の誕生日を迎えました。誕生日を無事に迎えられた意味と重さを感じました。人とのつながりと、命の重さを忘れず、前を向いて進んでいきます。



小坂翔子さん(29)  
小坂健爾さん(29)

南三陸町志津川在住

1986年南三陸町生まれ(2人共)。2013年7月に結婚、15年に第1子、真太郎くんが誕生。現在、翔子さんの両親、妹、祖母と同居している。健爾さんの父、母、叔母、祖母は南方仮設住宅から復興を目指す。

ずっとそばに



1 川谷さんと小坂さん夫妻をつないだ写真。引越しの荷物に入っていた写真と、机に入れていた携帯がそばに落ちていた。あれだけの津波にもまれても、近くに落ちていたのは本当に偶然なのだろうか  
2 健爾さんの思い出の品は2つしかない。ツーショット写真と、この写真付き手形色紙。これはツーショット写真より前に健爾さんの手元に戻った。昨年、この色紙も川谷さんが拾っていたことが分かった。この出会いは偶然ではなく、必然なのかもしれない  
3 川谷さんは、小坂さん夫妻の結婚式に招待された。披露宴中は「みんなの笑顔」をカメラに収め続けた



「縁」に支えられる「支縁者」

川谷清一さん(59)  
豊里町保手在住



1956年大阪府大阪市生まれ。東日本大震災以降、ボランティアとして被災地を1年間に10回訪問。津波で流された写真を回収し修復する「思い出探し隊」をはじめとした支援活動を続けている。2012年大阪府を退職し、同年4月登米市に移住。「年中夢中」が身上。

多くの人に「仕事辞めてまでこつちに来るなんてすごいですね」と言われます。私の父は55歳で亡くなり「父と同じ年齢までは生きたい」と思っていました。55歳で近づくにつれ「これまでと違う人生を歩みたい」と考えるようになり、そこで選んだのが被災地への移住でした。被災地での支援を決めたのには、もう一つ理由が。30年来の友人が津山町におり、震災後1カ月ほど連絡が取れず心配していました。ようやく連絡が取れたと思うと「仕事では毎日帰れていない」とのこと。「大変やなあ」と思っていたところに、4月7日の最大余震が発生。「東北へ行くしかない」と飛び出してきました。被災地での支援を決めたのには、もう一つ理由が。30年来の友人が津山町におり、震災後1カ月ほど連絡が取れず心配していました。ようやく連絡が取れたと思うと「仕事では毎日帰れていない」とのこと。「大変やなあ」と思っていたところに、4月7日の最大余震が発生。「東北へ行くしかない」と飛び出してきました。被災地での支援を決めたのには、もう一つ理由が。30年来の友人が津山町におり、震災後1カ月ほど連絡が取れず心配していました。ようやく連絡が取れたと思うと「仕事では毎日帰れていない」とのこと。「大変やなあ」と思っていたところに、4月7日の最大余震が発生。「東北へ行くしかない」と飛び出してきました。

東日本大震災から5年。この期間を早かったと感じる人、そうではないという人もいるだろう。人によって感じ方は千差万別。復興についても同じだ。道路や交通網、水田の作付けなどの整備については、内陸も沿岸部も比較的高速で進んでいる。登米市内ではほぼ復旧したといってもよいだろう。しかし、沿岸部の生活の根幹に関わる部分についてはまだまだだ。自分たちの家も、買い物する場所も、そのほとんどが仮設。さらに、そのまちの中でも差はあるだろう。日本人は元来「縁」を大切にしている民族だ。日本人は欧州などの大陸と違い、多民族の侵攻や混住生活などがなく、先祖伝来同じ共同体で暮らしてきた。人々は、誰もが仲良く暮らすことを心がけてきた。こういっていいから、見知らぬ人とほんの少しあいさつを交わしただけでも、その人との人生の縁を感じとり、親近感を持つようになるのだ。今回取材した人たちは、それぞれ縁あつてつなが

り、共に復興への道のりを歩んでいる。苦しんでいるときやつらいときに人を助けられるのは、モノや金ではなく人のつながり。だから支援する人たちは、寄り添い続けている。被災した人たちは、日常を取り戻せている人も増えている反面、まだまだ困難な状況の中、長い道のりを覚悟し、頑張っている人がたくさんいる。共に寄り添う気持ちが大切だ。沿岸部と内陸は、遠い昔から共に歩んできてきた。沿岸部は海の幸を、内陸は山の幸、山の幸をそれぞれ提供してきた。また、お互いの地域に嫁いだり、学校や職場に通ったりと、結びつきは非常に強い。どちらかが欠けていけば、現在の姿はない。沿岸部と内陸は一体なのだ。復興は、建物や生活環境だけではなく、心が元気になるってこそ。登米市の復興は、沿岸部が心の復興を果たしたとき。みんなが心から笑えるその日まで、被災者の心の「そば」に寄り添うことを忘れずにいたい。

【特集 そばに】

## 初恋さくら販売開始

### 産業高と甘酒コラボ販売

伊豆沼農産(伊藤秀雄社長)は、登米総合産業高と共同開発した乳酸菌発酵甘酒「初恋さくら」を2月26日から販売しました。

共同開発は、同社の企業理念の「地域資源を生かした商品開発」と、同高の「地域に根ざした教育」が合致したことをきっかけに始まり、同高独自のカリキュラム「起業実践」で昨年7月から取り組みました。

同高普通科3年で、商品開発班長を務めた阿部大樹さんは「自分たちの考えた商品が販売されることになりびっくりしています。店頭で並ぶ姿を想像するとワクワクします」と話していました。



学校所在地名「北桜場」にちなんで「初恋さくら」は、程よい甘さとすっきりとした飲み口のノンアルコール飲料です。

## 県内初の快挙を達成

### 3年連続で死亡事故ゼロ

登米警察署管内では、平成25年から交通死亡事故が発生しておらず、平成27年末で3年連続死亡事故ゼロを達成しました。これを受けて登米警察署は2月5日、交通死亡事故抑止活動に尽力した4団体と1個人に、感謝状を贈呈しました。

県内の事故記録が残る昭和30年以降、警察署単位で3年連続死亡事故ゼロの達成は県内初の快挙です。

感謝状贈呈者は次の通りです。【団体】登米地区交通安全協会、登米地区安全運転管理者会、登米地区安全運転管理者事業主会、登米地区地域交通安全活動推進委員協議会【個人】阿部進さん(登米町大谷地)



平成10年から毎年実施している年末恒例の「交通安全ジャンボ門松」づくり。地域で交通安全意識の醸成に努めています。

## 大事な基本みっちり

### 女子選手が野球教室指導

レイア野球教室は2月28日、迫体育館で開かれ、レイア所属選手などが、市内の子どもたちに野球技術の指導をしました。

野球教室は、市スポーツ少年団野球協議会が主催し、市内のスポ少8チームと佐沼中女子ソフトボール部の計約80人が参加しました。選手たちは、ボールを受けるときには「必ず正面に回ること」など、基本動作を丁寧に指導しました。

横山クラブの熊谷潤奈さんは「憧れのレイアの選手に教えてもらえてうれしい。自分もプロ野球選手になれるよう練習を頑張ります」と話していました。



レイアから、大倉三佳監督と吉田奈津、高塚南海、平田紗希の3選手が、実技を交えて分かりやすく指導しました。

## 思いをマンガに込め

### 石ノ森記念館で自主企画展

石ノ森章太郎ふるさと記念館で2月20日から3月13日まで第17回自主企画展「石ノ森ふるさとマンガ作品展」が開かれました。

自主企画展は、市内幼稚園、保育所、小中学校、県内の高校に作品を募集し、漫画を通して青少年の健全育成を目的に開催しました。

気仙沼市から訪れた紺野賢さんは「登米市まで足を伸ばしたので寄ってみました。仮面ライダーが新幹線に乗ったり、稲刈りをしたりと自分たちでは思い浮かばないですね」と子どもたちの柔軟な発想に感心していました。



石ノ森ヒーロー作品絵画、造形の部、マンガオリジナル作品イラストなど5部門、264点が展示されました。

## 男声ならではの良さ

### パパ絵本読み聞かせ講座

パパ・じいじだから出来る「絵本読み聞かせ講座」は2月28日、石森ふれあいセンターで開催され、親子29人が参加しました。

これは、父親や子育てをしている男性の育児参加をテーマに催されたものです。講師に東日本放送アナウンサーの熊谷博之さんを迎え、男性の声ならではの効果的な読み聞かせのコツを説明、参加者が実践しました。

親子4人で参加した長倉智幸さん(南方町北本郷)は「絵本は子どもたちが寝る前にたまた読んであげます。今日聞いたことをこれからぜひ参考にしたいです」と話していました。



「おやこペンギンジェイとドゥのゆきあそび」を実際に読み聞かせ。お父さんも子どもも、皆さん上手に読んでいました。

## 伝統の和の心を知る

### 中学生が長唄・日舞を鑑賞

市制施行10周年記念事業「長唄・日本舞踊鑑賞会」は2月25日、登米祝祭劇場で開かれ、市内10中学校の生徒約750人が日本の伝統芸能を堪能しました。

鑑賞会は、東京芸大邦楽科出身の若手演奏家9人が出演。長唄は、三味線や笛、太鼓、鼓の演奏者と唄方の8人が歌舞伎の演目「勸進帳」を、続いて演奏に合わせて立方が日本舞踊を披露しました。

東和中2年の岩淵奏子さんは「日本の伝統芸能に触れる機会は少なく、生で見る三味線や太鼓の演奏、きれいな動きの踊りはすばらしかったです。今日は貴重な体験ができました」と感謝の言葉を述べました。



普段触れることのない古典芸能に中学生は興味津々。三味線の材料に猫の皮を使うと知ると、みんな驚いていました。

Information 01

# 3月26日から市民バスの運行時刻などが変わります



●バス停留所の新設  
東西循環線の中田町宝江新井田周辺に「六丁目」および「上待井」バス停留所を新設

【問い合わせ】企画部市民活動支援課  
☎ 0220(22)2173

平成28年3月26日から、交通渋滞などで到着時刻に遅れが生じていた便やJR在来線の運行ダイヤ改正の影響を受ける便など、一部の市民バス運行時刻などを改正します。

改正後の運行時刻については、毎戸に配布しています「登米市市民バス時刻表(2016年3月26日改正)」をご確認ください。

- 【改正内容】
- 運行時刻の変更
  - ①南方線3便：始発を午前9時20分発に変更
  - ②新田線1便：始発を午前6時50分発に変更
  - ③新田線3便：始発を午前9時29分発に変更
  - ④新田線4便：始発を午前8時5分発に変更
  - ⑤石越線1便：始発を午前6時45分発に変更し、石越駅前バス停留所で最大5分間の出発調整を行う

Information 02

# みんなで楽しく遊んだり、おしゃべりしませんか。ご利用ください「子育て支援センター」

	迫子育て支援センター	登米子育て支援センター	東和子育て支援センター	中田子育て支援センター
申し込み問い合わせ	☎ 0220(22)2524	☎ 0220(52)2246	☎ 0220(42)2230	☎ 0220(35)2525
活動内容	事業名 ひろこ(火)0歳~就学前 うさぎっこ(木)おおむね3歳児 10:00~11:30	月3回程度 火曜日 9:30~11:30	毎週木曜日(米谷) 10:00~11:30	▶カムすく広場 毎週水曜日 9:30~11:30 ▶すくすくの日(0~1歳児) 月2回木曜日 9:30~11:30
	共通内容 紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て相談・子育て講座・子育て支援情報など	独自内容 ミニ運動会、クッキング、季節の行事、おやつ作り、運動遊びなど	誕生会、季節の行事、ミニクッキングなど	ふれあい遊び、わらべうた遊び、季節の行事、ミニクッキング、手作りおもちゃ、3B体操など
申し込み方法	各施設に備え付けの用紙に必要事項を記入の上、登録する子育て支援センターや児童館に提出してください。 ※対象は、0歳~就学前のお子さんとその保護者(家族)			
自由来館	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~金曜日 9:00~14:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00

	豊里子育て支援センター	米山子育て支援センター	石越子育て支援センター	津山子育て支援センター	南方子育てサポートセンター
申し込み問い合わせ	☎ 0225(76)4731	☎ 0220(55)2313	☎ 0228(34)3110	☎ 0225(68)3363	☎ 0220(58)5558
活動内容	事業名 たんぼぼ広場 毎週火曜日 9:00~12:00	くまのこ広場 毎週木曜日 9:30~11:30	ふれあい広場 毎週水曜日 10:00~11:30	ぼんぼこ広場 月3回程度 水曜日 9:30~11:30	遊びの広場 毎月5~6回 10:30~11:00
	共通内容 紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て相談・子育て講座・子育て支援情報など	独自内容 リトミック、いきいき豊里っ子的日、おでかけなど	誕生会、季節の行事など	ミニクッキング、誕生会、季節の行事など	ピアノとうたおう、おはなしワクワク、リトミック広場、地域交流(ぼんぼの日)など
申し込み方法	各施設に備え付けの用紙に必要事項を記入の上、登録する子育て支援センターや児童館に提出してください。 ※対象は、0歳~就学前のお子さんとその保護者(家族)				
自由来館	毎週水・木曜日 9:00~12:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~金曜日 9:00~16:00	毎週木曜日 9:30~11:30	毎週月~土曜日 8:30~17:00

※詳細については、直接各支援センター・児童館にお問い合わせください。

Information 03

# 春の交通安全市民総ぐるみ運動



4月6日(水)から15日(金)の10日間、全国一斉に「春の交通安全運動」が行われます。

- ①子どもと高齢者の交通事故防止
- ②飲酒運転の根絶
- ③自転車の安全利用の推進
- ④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ⑤交差点と交差点付近の交通事故防止  
交通事故の撲滅は、市民誰もが望む「願い」です。この「願い」をかなえるため「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」を市民一人一人が心掛け実践することが重要です。
- ⑥新入学児童に思いやりを!  
4月は、新入学児童が交通事故に遭うケースが見受けられます。  
自転車・車を運転する皆さんは、子どもに配慮した運転に心掛け、家族や地域では将来の登米市を担う子どもたちの見本になるよう交通ルールを守り、交通マナーを実践しましょう。

自動車・自転車などを運転する時は、飲酒運転が引き起こす事故の重大性を十分に認識し、「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」を実践しましょう。

【指定場所】迫町佐沼字中江一丁目~五丁目  
【指定期間】平成28年4月1日~平成30年3月31日まで  
【飲酒運転で失う六つの宝】  
①命(死亡事故に直結)  
②家族(家族離散など)  
③仕事(会社は解雇など)  
④社会的信用(マスコミで報道など)  
⑤免許(免許取り消しなど)  
⑥お金(罰金や遺族補償など)

飲酒運転は「犯罪」です。本市は県内他市町村と比べて、飲酒運転による検挙数・事故件数の割合が高い地域です。

【問い合わせ】市民生活部市民生活課  
☎ 02220(58)2118

Information 04

# 宝くじ文化公演「ウイーン少年合唱団コンサート」



【日時】平成28年5月17日(火) 開場11時、午後6時、開演11時、午後6時30分

【会場】登米祝祭劇場(大ホール)

【入場料】S席3千円、A席1500円(当日はS・A席ともに500円増)

※宝くじの助成により、特別料金となっております。  
※未就学児の入場はできません。

【前売り券】4月9日(土)午前10時から登米祝祭劇場と市内

【問い合わせ】登米祝祭劇場  
☎ 02220(22)0111

# 狂犬病予防の集合注射を実施します



飼い犬の狂犬病予防注射を市内各町域で実施します。日程は平成28年4月11日(月)~28日(木)までです。犬の所有者には、年1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられていますので、必ず接種しましょう。新たに犬を飼われた場合は、会場で登録手続きの上、注射してください。

【新規登録料】1頭3千円  
【予防注射代】1頭3020円(内訳：予防注射代2470円、注射済票代550円)

【問い合わせ】市民生活部環境課  
☎ 02220(58)5553

Information  
08

## 平成 28 年度登米市農作業標準料金・賃金表

農作業を受委託する場合の参考にしてください

作業種目など	種別	作業単位	区画	標準料金(税込)	備考				
耕起	水田耕起	トラクター	10㌔	30%未満	4,940円	ロータリーを基準 耕深 12㌔以上			
				30%~50%未満	4,320円				
				50%以上	3,910円				
	畑耕起	トラクター	10㌔	30%未満	5,660円	二番耕 普通畑			
代かき	トラクター	10㌔	30%未満	30%未満	6,380円	仕上げまで			
				30%~50%未満	5,860円				
				50%以上	5,450円				
田植え	催芽料金	1袋	4キログラム	260円		苗を委託者自己搬入以外は1箱30円増 箱処理別は含まない			
				苗	1箱		700円		
							田植機	10㌔	30%未満
30%~50%未満	4,830円								
50%以上	4,420円								
直播	湛水	10㌔	5,350円		代かき済みほ場とし、種籾、コーティング 処理含まず				
	乾田		5,140円			整地済みほ場とし、種籾含まず			
稲刈り	コンバイン	10㌔	30%未満	16,970円	隅刈~運搬まで フラ切断 フラ結束は2,000円増				
			30%~50%未満	15,840円					
			50%以上	14,610円					
	バインダー	10㌔	8,020円		刈放し、結束糸持ち				
脱穀	ハーベスター	10㌔	6,690円		結束なし				
			8,850円		結束				
籾乾燥調製	乾燥	60キログラム	生籾乾燥	1,030円		水分 18%以下のもの			
			半乾燥	650円					
			籾すり	590円			袋代は別		
			色彩選別	430円			単独作業、籾すりと同時に作業は別料金		
散布	肥料散布	ブロードキャスター	10㌔	750円		肥料代は別			
	農薬散布	背負動力散布機	10㌔	860円		農薬代は別			
	堆肥散布	マニアスプレッター	10㌔	2,570円		堆肥代金は含まない。積込運搬含む			
堆肥		1トン	3,240円		有機センター成分と同等品、運搬なし				
溝切		30㌔	4,830円		溝切は100㌔当たり500円くらいとし、 まくらは排水溝までつなぐ				
畦畔土盛		1㌔	40円		片側(土盛、鎮圧)				
ワラ収集梱包	反転収集	ジャイロレーキ	10㌔	1,340円		2回を標準とする			
				梱包	ロールペーラー		2,570円		積み上げ・運搬は含まない
					ヘイペーラー		3,090円		
					ラッピング		1個	直径 1㌔	
転作田草刈(牧草)	ディスクモア	10㌔	3,090円		転作草地の草刈り(刈り放し)				
畦畔草刈	草刈機	1時間	1,540円		機械持ち(燃料含む)				
	自走畦畔草刈機	1時間	3,090円		機械持ち(燃料含む)				
賃金	オペレーター	1日	10,000円		トラクター・コンバインなどの運転者のみを 依頼する場合の賃金(8時間)				
	一般作業員	1日	7,000円		一般農作業、男女とも同額(8時間)				

①賃金は、実働8時間を基準とします。  
 ②上記以外、未整備田、地形、地質、作業内容など、通常と異なる場合は双方協議の上、決めてください。  
 ③区画の考え方は、ほ場の区画ではなく作業面積による区画です(例:1㌔区画内で20%作業する場合は「30%未満」の区画料金を適用します)。  
 ※料金表は各総合支所に準備しています。また、市ホームページ(<http://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/nogyo/tinsyaku.html>)にも掲載しています。

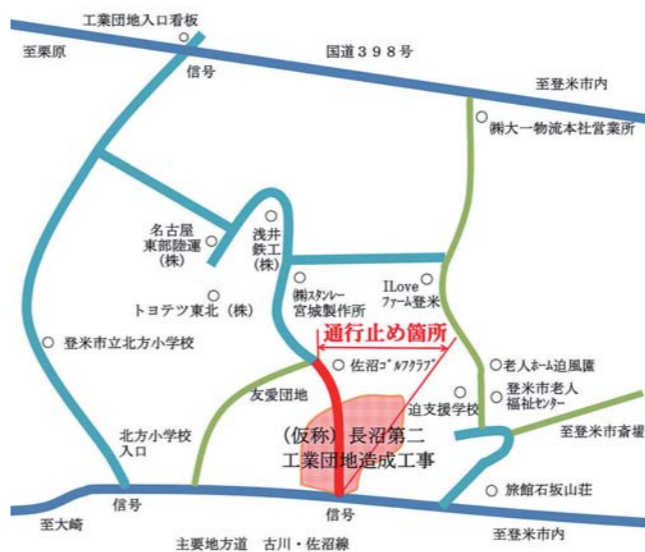
【問い合わせ】農業委員会事務局 ☎0220(34)2317

Information  
06

## 工業団地造成に伴う交通規制のお知らせ

### ◆通行止め箇所および迂回路図

【凡例】  
■ 通行止め  
■ 市道迂回路 道幅2車線6㌔以上  
■ 市道迂回路 道幅1車線6㌔以下  
■ 国道・県道迂回路



(仮称)長沼第二工業団地造成に伴い、市道大洞9号線の拡幅工事を行います。工事期間中は全面通行止め(24時間)の交通規制を行います。近隣にお住まいの人、通勤・通学で通行する方などには大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

【工事概要】  
 施工延長L11535.0㌔  
 道路幅W119.5㌔  
 工種11土工、舗装工など  
 【規制期間】平成28年4月1日(金)~12月31日(土)  
 全面通行止め(24時間)  
 【通行止め箇所・迂回路】左記迂回路図を参照してください。  
 【問い合わせ】産業経済部新産業対策室  
 ☎0220(34)2076  
 【施工者】渡辺土建・佐々重特定建設工事共同企業体  
 ☎0220(23)7832

Information  
07

## 宿泊農業体験学習の受け入れ農家を募集

市グリーン・ツーリズム推進協議会では、平成28年5月に予定している中学校の宿泊農業体験学習(ファームステイ)の受け入れ農家を募集します。  
 ファームステイでは、子どもたちを自分の家に宿泊させ、農作業や家事手伝いなど、農家の暮らしを体験してもらいます。特別なことをする必要はありません。普段の仕事を手伝って一緒に楽しめながら作業してみませんか。受け入れ家庭には、受け入れ料金をお支払いします。

【受け入れ人数】1戸…3~5人程度  
 【受け入れ料金】1泊2日…1人7千円、2泊3日…1人1万4千円  
 【申し込み方法】電話  
 【申込期限】平成28年3月31日(木)  
 【日程】  
 ①5月11日(水)~12日(木) 1泊2日/宮城県岩沼市立岩沼中学校  
 ②5月18日(水)~20日(金) 2泊3日/宮城県仙台市立向陽中学校



台中学校  
 ③5月24日(火)~25日(水) 1泊2日/宮城県岩沼市立岩沼北中学校  
 【申し込み・問い合わせ】市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局(産業経済部商工観光課内)  
 ☎0220(34)2734  
 【会員募集】市グリーン・ツーリズム推進協議会では会員を募集しています。会員登録すると宿泊農業体験学習の受け入れ農家として優先します。  
 【年会費】千円

## 広報とめ 全国広報コンクールに推薦

公益社団法人日本広報協会が主催する全国広報コンクールに、市広報紙「広報とめ」が県代表として推薦されることになりました。同コンクールは、平成27年中に発行された自治体広報紙を対象に実施されているものです。今回は、広報紙(市部)の部で「広報とめ12月号」が全国広報コンクールに推薦されます。広報紙の部の12月号は、「若者の就職」をテーマに取り上げた特集が高く評価されました。「企画・デザインが良い」「地方創生を意識した、若者に向けてのメッセージがよく伝わってくる」など評価をいただきました。





豊里

## スキーとそり遊びで雪山満喫 2月20日

ときめきキッズクラブ第3回学習会「そり遊び・スキー教室」(豊里教育事務所主催)は、大崎市鳴子のオニコウベスキー場で開催され46人が参加しました。

参加者は、そり遊びとスキーに分かれ、スキーは指導員から一人一人丁寧に指導を受けました。そり遊びは、豊里町ジュニアリーダーサークル「赤い鳥」のメンバーにお世話してもらいながら実施。思っていたよりもスピードが出るため途中で転倒しても笑いながら何回も滑りました。

## 世代つなぐレクリエーション 2月14日

善王寺コミュニティセンターを会場に「吉田地区第19回世代間交流レクリエーション大会」が開催され、幅広い年代層約350人が参加しました。今年もユニークな種目が多数企画され、老若男女の笑い声が会場内に響き渡りました。親子5人で参加した岡崎満さん(山吉田行政区)は「誰もが楽しめる競技がたくさんあり、3歳の息子も大喜び。最後の抽選会も周りのじいちゃんばあちゃんと一緒にドキドキしながら楽しめました」と笑顔で語ってくれました。



米山



迫

## 踊りや餅つきでにぎわう一日 2月28日

佐沼地区コミュニティ推進協議会(千葉成幸会長)は迫公民館を会場に佐沼地区コミュニティ祭りを開催。子どもからお年寄りまで約800人が訪れました。

祭りでは、各町内会の演芸発表のほか、作品展示・工作体験などが催されました。お昼には公民館の玄関前で餅つきを披露。出来立ての餅とほっと汁を来場者に振る舞いました。冬晴れの空の下、祭りは大盛況となり、来場者は楽しい時間を過ごしました。



石越

## スポーツ通し青少年の育成を 2月13日

青少年の健全育成を目的に、青少年のための登米市民会議石越支部と石越町子ども会育成協議会の「合同会員研修会」が石越体育センターなどを会場に開催。約60人が参加しました。今年ソニー仙台の片桐幹雄氏を講師に招き、「スポーツを通しての青少年の健全育成」をテーマに、簡単にできる運動や、スライドを使った講話を受けました。

参加者は、現代の子どもとスポーツの関わりや、子どもと接する上で大事なことなど、真剣に耳を傾けていました。

## 空高く舞い上がる自慢のたこ 2月7日

第53回とよま凧あげ大会は北上川右岸堤防を会場に開催されました。

この大会は手作りのたこを通して、市民相互の親睦を図るとともに親と子のふれあいを深めることを目的に、毎年この時期に開催しています。

当日は、晴天にも恵まれ、透き通った青空の中「たこたこ揚がれ!天まで揚がれ!」と、空高く舞い上がる自慢のたこを見ながら、たこ揚げ大会を楽しみました。



登米

## 餅で雪道の安全運転呼びかけ 1月31日

冬道の積雪や凍結などによる交通事故防止の注意喚起を目的に「交通安全餅餅キャンペーン」が実施されました。南方地区交通安全指導隊と佐沼地区交通安全協会南方支部の共催で、登米みなみ商工会南方支所前の県道交差点で「冬道の安全運転 1・2・3運動」を啓発するため、「気もちにゆとりをもちましょう」のテーマで、ニンジン、カボチャ、ホウレン草で信号機と同じ3色に加工した餅を配りながら、通りかかる自動車の運転手に安全運転を呼びかけました。



南方



東和

## 「よそ者」目線で地域を活性 2月4~9日

関西の大学生が米川地域を訪れ、伝統行事に参加したり、地元住人と交流したりし、「よそ者」目線で地域活性化策を提言してもらう「クール米川プロジェクト」。平成25年秋から始まり、今回は5泊6日の日程で滞在。地域住民と語る会では「米川の水や食べ物をインターネットでPRする」などの提言がありました。参加住民は「地域の気づかなかった特産物があることがわかった」と地域活性化につながるヒントを得る大きな収穫となりました。



津山

## 福を願い横山不動尊で豆まき 1月31日

横山不動尊の節分豆まきは、横山不動尊境内で開催され、子どもからお年寄りまで多くの方が詰め掛けました。

かみしも姿で登場した関係者が太鼓の音に合わせて「福は内、鬼は外」の元気な掛け声で落花生の入った豆袋をまくと、訪れた人たちは歓声を上げながら多くの福を呼びこもうと豆袋を拾っていました。まかれた豆袋には「福豆」が入っていて、拾った人には不動尊でご祈禱された福升や福飴などの縁起物が贈られました。

## みんなで作って風と遊ぼう! 2月21日

石森コミュニティ運営協議会(渡邊義昭会長)は、石森地域づくり事業「いしのり地域づくり実践プロジェクト」の一環として「凧づくり凧あげ大会」を開催。石森在住の子どもから大人70人が参加しました。骨組みから手づくりするたこづくりは、大人でも大変な作業ですが、3時間ほどでオリジナルのたこが完成。この日は強風のため外で揚げることができず、体育館の中で試し揚げをしました。子どもたちは自分の作ったたこを揚げ喜んでいました。



中田



3月3日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



木村 颯太くん (追町中江) 菅野 寛通ちゃん (追町山の内) 加藤 蒼空くん (追町大綱南) 及川 一颯くん (追町平柳) 上野 陽音くん (追町山の内) 伊藤 誠紀くん (追町三方島) 伊藤 楓真くん (追町舟橋) 阿部 蓮美ちゃん (追町中江)



遊佐 愛莉ちゃん (追町萩洗) 村上 夏芽ちゃん (追町大綱西) 千葉 浩也くん (追町坂橋) 只野 優愛ちゃん (追町光ヶ丘東) 菅原 紗衣ちゃん (追町駒木) 佐藤 凜々花ちゃん (追町萩洗) 小関 蒼葉くん (追町本田) 工藤 聖愛ちゃん (追町萩洗)



辻 結風ちゃん (東和町米谷1区) 佐藤 爽太くん (東和町錦織1区) 及川 琉斗くん (東和町米川1区) 猪又 琉空くん (東和町米谷3区) 猪又 愛加ちゃん (東和町米谷7区) 平 壮汰くん (登米町鉄西) 鈴木 仁胡ちゃん (登米町八丁田) 佐々木 優羽ちゃん (登米町遠見台)



酒井 颯也くん (中田町神ノ木) 後藤 花ちゃん (中田町大泉) 工藤 結晴くん (中田町石森長根) 小野寺 大雅くん (中田町十文字) 奥山 隼くん (中田町表) 猪股 翔羽くん (中田町蓮田) 阿部 瑞生くん (中田町石森長根) 羽生 蛭夏ちゃん (東和町錦織2区)



千葉 遼太くん (石越町第一) 高橋 佳奈ちゃん (石越町第一) 高橋 彩里ちゃん (石越町第一) 工藤 真海ちゃん (石越町第十四) 千葉 衣織ちゃん (中田町新橋) 田口 竜之介くん (中田町茶畑) 白石 美空ちゃん (中田町茶畑) 相楽 優莉ちゃん (中田町駒牽)

おめでとう  
ございます  
祝100歳

**菅原 きみよさん**  
(登米町・下り松)  
大正5年2月14日生まれ

登米町北沢の生まれ。1942年4月に結婚しました。好き嫌いせず、腹八分目が健康の秘訣です。誕生日にはひ孫手作りの「開くとケーキが立体になるパースデーカード」をももらい、「何よりのプレゼント」と話していました。



齊藤 来希くん (南方町釜) 鈴木 ららちゃん (米山町新町) 三枚橋 逢斗くん (米山町齊藤) 岡崎 真大くん (米山町山吉田) 千葉 柑奈ちゃん (石越町第十四)

むし歯がなかった子は、市内7地区で78人中49人でした



三浦 璃仁くん (南方町大門) 須藤 陽向くん (南方町北本郷) 佐藤 隆信くん (南方町山成) 佐々木 羽琉くん (南方町釜)

今月は中田図書室です

一般向け

### PICKUP\_04 秘密の地下世界



ナショナルジオグラフィック/編著  
パリの地下迷路、海底に沈めた美術館など、地中や水底にひそむ異世界を美しい写真と図解で紹介。

### PICKUP\_05 手間を楽しむ折り紙袋



フチモト ムネジ/著  
季節や用途に合うモチーフにこだわり、折る楽しさと贈る楽しみがひとつになった実用折り紙を紹介。

### PICKUP\_06 典獄と934人のメロス



坂本 敏夫/著  
関東大震災の発生により解放された囚人たちに与えられた時間は24時間。究極の絆を結んだ人々の奇跡の物語。

### Library Topics

## みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

### 本の返却はお済みですか？

本の返却期限は貸出日の翌日から14日間です。返却期限日を過ぎると、他の利用者の迷惑になりますので、速やかに返却をお願いします。

毎年、本を借りたまま転出し、連絡のつかない人がいます。特に進学や就職、転勤などで登米市を転出予定の方は、もう一度、借りている本がないか確認してください。また、家族で借りている人に心当たりがありましたら、本人に声がけして下さるようお願いいたします。

なお、転居先が市内でも連絡先などが変更になる場合は、利用者カードの登録情報を修正しますので、最寄りの図書館(室)にご連絡ください。

子ども向け

### PICKUP\_01 世界のどうぶつ絵本



前田 まゆみ/作  
みんなが知ってる動物から絶滅危惧種まで、どうぶつ好きな子のためのちょっと詳しい図鑑絵本です。

### PICKUP\_02 発明図鑑



トレーシー・ターナー他/文  
すばらしい発明と、その裏に隠された物語を紹介。発明によって世界がどう変わったのかまで解説。

### PICKUP\_03 さるとうさぎとがまがえる



(紙芝居)  
津田 真一/脚本、イ スジン/絵  
昔、猿のお尻は赤くなく、うさぎの尻尾は大きくて、がまがえるのお腹はべったんこだった頃。動物の由来紙芝居です。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など  
(中田図書室は祝日も開館)  
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
- 問い合わせ 追 図書館 ☎22-9820  
登米図書館 ☎52-5330  
中田図書室 ☎34-8081

This Month  
Pick Up  
Hot  
Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



## Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

### 佐々木 優桜さん

ささき・ゆら 東和中2年  
東和町・米谷3区

#### 将来は優しい保育士に 夢に向かって努力する

私の夢は保育士になることです。きっかけは7年前にいとこが生まれたことです。いとこが家に来ていた時にミルクをあげたり、おむつを替えたり、少し大きくなってからはひらがなを教えたりして一緒に過ごしました。いとこの世話をするうちに保育士になりたいと思うようになり、職場体験やJボラでも保育園で活動し、ますます思いが強くなりました。

保育士になるために今はピアノを頑張っています。今年は合唱コンクールの伴奏に挑戦し、賞を取ることができました。引込み思案な私には大きな自信につながったと思います。他にも保育士になるために必要なことはたくさんあります。まずは勉強を頑張ってどんなことがあっても諦めずに夢を叶えたいです。

## Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



七夕生まれの一卵性の双子の姉妹です。おっぴいちゃんの子守歌が大好きです♪

いつも笑顔で明るい湊空くん！ママとパパの所に生まれてきてくれてありがとう！これからもすくすく育ってね。



みなと 佐藤 湊空くん(1)

2015年2月22日生まれ  
米山町・鈴根  
樹さんの長男

みおり 田中 美織ちゃん(0)・さちか 祥歌ちゃん(0)

2015年7月7日生まれ  
津山町・小川町  
美保さんの長女(祥歌)、次女(美織)

## Young

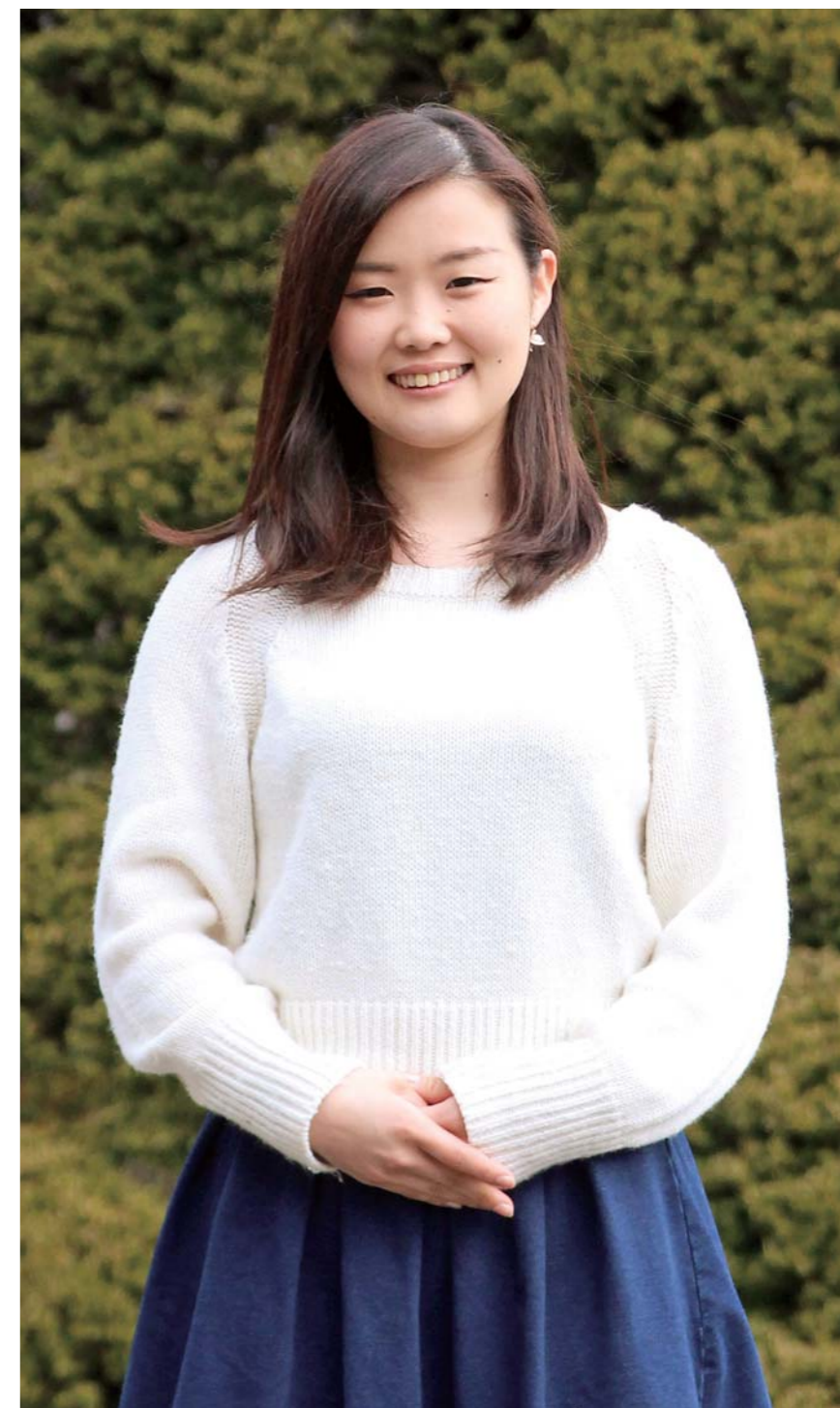
まちの若い衆

Monthly Hot Communication

### 高橋 亜弓さん(24)

たかはし・あゆみ  
中田町・浅部

- ★身長と血液型 159センチでO型です。
- ★現在は 東北三菱自動車販売(株)石巻店で働いています。フロント業務を担当しています。身だしなみや立ち居振る舞いなど、お客さんに心地良く過ごしてもらえるよう常に気をつけています。
- ★自分の性格 マイペースです。好きなことにはのめり込んでしまい、頭より先に体が動いてしまいますね(笑)。
- ★趣味は よさこいです。現在は「舞姿道みろく」に所属し踊っています。父と弟も同チームで旗振りをしています。子どもから大人まで楽しそうに踊っているのを見て、やり始めました。
- また、祖母が日本舞踊の先生をしていて、一緒に施設などでボランティアで踊っています。どちらも踊りでみんなを笑顔にし、自分が元気をもらえるところが魅力ですね。
- ★休日は 平日休みなので、時間が合えば友達と買い物やご飯に行きますが、一人で出かけることが多いですね。
- ★理想の男性像 周りのちょっとした変化に気づいてくれる視野の広い人。気遣いのできる優しい人です。
- ★今やってみたいこと 家族で旅行に行きたいです。家族は仲がよくて何でも話します。温泉に行きたいですね。
- ★登米市について一言 近所や地域の付き合いがあってとても住みやすいまちだと思います。お祭りなど活気がありますが、もっと名物になるようなものがあれば、なおいいですね。



#### ～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。

<応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください(1メガ以上のサイズでお願いします)<応募先>総務部市長公室広報広聴係 〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp



岩瀨 栄記さん (81)  
茂子さん (80)

東和町・米川8区  
1957年(昭和32年)1月入籍

人生『楽あれば苦あり、苦あれば楽あり』

★結婚当時の思い出は

【榮記】津山町の横山不動尊のお祭りさ、近所の友だちと自転車で行く途中、道間くべって声かけたんだ。

【茂子】実家は登米の針田で、自転車こいでだんだんでは。そのあと、何だか分かんねえけど一緒にあったんだね(笑)

【榮記】結婚してからは二人で炭焼きしたんだ。炭焼きさ歩ったのが新婚旅行だ(笑)

【茂子】炭焼きなんてしたことがなかったがねえ。おじいさんが窯出しで真っ黒になっ

★印象深い出来事は  
【茂子】おじいさんが40歳ぐらいの時に、仕事で4層の高さから落っこって、医者から

3日持たないって言われたときは涙も出ねがったで。

★現在の楽しみは

【榮記】昔から働くことが趣味みたいなんだ。今はニラ作って農協さ出荷してんだ。絶対手抜きはしねえよ。

【茂子】踊りとか見さ行くのが楽しみだね。旅行も孫たちにも誘われつつから行くで。

★夫婦円満のコツは  
【2人】ケンカすたことねえな。余計なこと言わねえの(笑)。

★やりたいこと

【2人】若い頃は、みんな生きるために稼がないといけなくて苦労しながら、欲はかがないで。今のまま自分だけのペースで過ごしていくべ。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

情報はふるさととの架け橋

東京米山会は3月6日に第33回総会および懇談会を開催。参加者は来賓皆さんのふるさとの情報に耳を傾け、聞き入りました。また、会場に設けられた道の駅米山のふるさとの物産は、その場でいただく人、家族へのお土産にする人など毎年大人気です。その時間だけは幼年に戻り、昔話やふるさとの話題に花が咲いています。また、しばらく帰省してない人には最近帰省した人の土産話で盛り上がり。当会も登米市誕生とともに会員を中心に運営することとなり、今年で10年。当初は何をするにも右往左往するばかり

佐竹 正三さん (65)

登米市在京町人会連絡協議会役員 東京米山会総務総括 米山町(中埜)出身



りで結果が出せませんでした。でも昨年よりは今年、今年よりも来年の思いで早くも10年がたちました。しかしながら現在は、会員の高齢化と減少に悩んでいるところであり。ふるさとへは新幹線で2時間余り、車で4時間弱と近くなりました。都の片隅で酒を酌み交わしながらふるさとを思う時代では無くなったのでしょうか。会員の中には代替わりしてふるさととのつながりが薄くなった人などいろいろですが、皆の心の奥には必ずふるさとがあります。

正月に東京ドームで開催されるお国自慢ふるさと祭り、麻布十番夏祭り、宮城ふるさとプラザでの登米市フェア。昨年8月に両国国技館で行われたチビッ子相撲大会には、連絡がでなかつた会員も多数応援に駆け付けてくれました。皆、心の奥にあるふるさとを思うDNAに呼び寄せられたのでしょうか。

まだまだいろいろないイベントを行っていると思えますが情報不足が足りない。もつといただければ会員の皆さんにも多く参加していただけたと思います。ぜひ、ふるさとの情報を首都圏をはじめ多くの皆さんへ発信していただきたいと思えます。

おらほの物産

とよま観光物産センター「遠山之里」



「みやぎの明治村」の観光拠点



河内専務(左)と社員の皆さん

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の河内安雄専務にお話を伺いました。

Q「遠山之里」の特徴などについて教えてください  
登米町には、明治時代の洋風建築などが多く現存し、その町並みから「みやぎの明治村」と呼ばれています。町の中

心部にある「遠山之里」は、地域の観光拠点施設として平成12年にオープン。教育資料館など各資料館のチケット販売や観光案内をしています。また、併設の食事処「蔵ら」の麺類や郷土料理は好評です。



Qお勧めのものなどを教えてください  
ここでは市内のお土産を購入入することができます。その

中でも売れ筋は定番の油麩と瓦煎餅。油麩は市内8社のものを置いています。店によって違いがありますが、お好みのものを探してみるのもいいですね。

また、1880年の創業時から続く登米名物、田辺菓子店の「太白飴」は10月5月の期間限定商品。砂糖は一切使用せず、もち米と麦芽を原料にした自然な甘みの飴です。【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」 ☎0220(52)5566

まちの文芸 短歌

作品募集!

●5月号は俳句、川柳です。住所・氏名電話番号を記入し、3月31日(木)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

夕ぐれに引くカーテンのすき間から  
やさしく光る金星の見ゆ  
職退きて野菜作り励む吾子  
葱のできばえ亡夫に見せし  
ハネハネの笠を欲しいと泣きし孫  
あげられないの抱子笠に笑ふ  
老いて尚すこやかならんとアロエ葉を  
きざみジュースの朝の一杯  
官林のふくろうカッコウほととぎす  
消え失せ今は赤トンボも見ず

相澤 志子 (東和)

小野寺典子 (中埜)

佐々木恒子 (中埜)

千葉 源治 (中埜)

折居由紀子 (米山)

婆見てと子猿の如く忽ちには  
ジャングルジムの頂上の二才児  
今ここにあり命の輝き  
冬の空見上げし星の輝きよ  
ミニデイに初の参加で笑顔にて  
お昼お美味く感謝の春  
チリ鍋を囲み地ビール談議する  
父と息子眺め心ほのぼの  
朝もやに群なす雁の北帰行  
宿命背負いて黒き騒めき

水野トヨコ (米山)

佐々木まき (石越)

佐藤よしの (石越)

三上久美子 (南方)

佐々木秀子 (津山)

# 健康

## 4月の献血日程

**2日(土)**  
▶イオンタウン佐沼  
10:00～11:45  
13:00～16:30  
※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。  
【問い合わせ】  
市民生活部健康推進課  
☎0220(58)2116

## 登米いのち ホッとテレホン

☎0120(870)108  
(登米市民専用)  
登米いのちホッとテレホンは…  
○24時間いつでもかけられます。  
○名前を名乗る必要はありません。  
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。  
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

## こども夜間安心コール

●電話番号  
#8000  
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
☎022(212)9390  
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)  
●相談時間  
毎日午後7時～翌朝午前8時

## 休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)  
☎0229(24)2267

## 4月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
3日(日)	米谷病院(東和町) ☎0220(42)2007	ホワイト歯科(迫町) ☎0220(22)8145
10日(日)	大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	ちば歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)6007
17日(日)	新田診療所(迫町) ☎0220(28)3398	津山歯科診療所(津山町) ☎0225(68)3244
24日(日)	三浦消化器内科(中田町) ☎0220(34)3611	さくら歯科医院(迫町) ☎0220(22)2210
29日(金)	佐幸医院(迫町) ☎0220(22)7003	はら歯科医院(米山町) ☎0220(55)3313

●診療時間 9:00～17:00  
【休日急患当番医】  
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)  
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511  
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084  
※月～金曜日(休日を除く)  
【歯科休日当番医】  
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116  
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

### 4月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
4日(月)	津山ふれあいセンター 13:30～15:30 ☎0225(68)3114 医師
13日(水)	豊里公民館 13:30～15:30 ☎0225(76)4113 カウンセラー
19日(水)	南方保健センター 13:30～15:30 ☎0220(58)2113 医師

精神科医師などが相談に応じます(要予約)。  
不明な点は各総合支所市民課に、南方地区の皆さんは、健康推進課にお問い合わせください。

児健康診査を受け、むし歯がなかった本人と、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん。  
※応募は①か②のどちらか選択になります。5月初旬に、県歯科医師会から口腔診査の連絡があります。  
【応募期限】平成28年4月13日(水)  
【申し込み・問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116  
各総合支所市民課(健康づくり係)  
●8020よい歯のコンクール  
【応募できる人】平成28年6月4日現在、満80歳以上で、自分の歯(治療完了)が20本以上ある健康な人。  
【応募方法】官製はがき(フアクシミリ可)に住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、電話番号、かかりつけ歯科医院、または最寄りの歯科医院を記入し、下記まで応募してください。  
【応募期限】平成28年4月15日(金)  
【申し込み・問い合わせ】〒980-0803 仙台市青葉区国分町一丁目5-1 県歯科医師会「コンクール事務局」☎0225(21)7220

事務局 ☎022(222)5960 ☎022(225)4843  
「ドクターカーシステム」の運用を開始します  
石巻赤十字病院では、登米市消防本部と連携し「ドクターカーシステム」の運用を開始します。  
このシステムは、重症傷病者の発生時に医師・看護師が救急現場へ急行し初期治療を行うもので、救命処置がいち早く行われることにより、救命率の向上や後遺症の軽減が期待されます。  
ドクターカーと救急車が合流する際に、近隣のスペースを使用する場合がありますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。  
※一般の人や医療機関から直接依頼することはできません。  
※医師の行った医療行為で医療費が発生した場合は、患者負担(保険適用)となります。  
【運用開始日・時間】平成28年4月1日(金) 平日午前8時30分～午後5時まで  
【問い合わせ】石巻赤十字病院救急課 ☎0225(21)7220

## タオル帽子講習会 受講者募集

フェイスタオル1枚でもできるタオル帽子で、どなたでも簡単に作ることができます。  
「岩手ホスピスの会」が、抗がん剤治療により脱毛した人のために考えたもので、この会の指導の下で制作しています。  
脱毛された人やご家族、大切な誰かのために一緒に作ってみませんか。  
【会場】登米市民病院地域医療連携センター(2階がん相談支援室)  
【開催日】平成28年4月14日(木)、5月12日(木)、6月9日(木)、7月14日(木)、8月18日(木)、9月8日(木)  
【時間】午後1時30分(2時間程度)  
【参加費】千円(型紙代など)

## ハートほっとダイヤルを終了します

市のDV相談専用ダイヤル「ハートほっとダイヤル」(☎0220(58)2128)を3月末で終了します。  
配偶者やパートナーからの暴力、ストーカーなどのご相談は、次の機関で相談できます。ひとりで悩まずご相談ください。  
【相談機関】福祉事務所子育て支援課  
☎0220(58)5562  
県東部保健福祉事務所登米地域事務所(母子・障害班)  
☎0220(22)6118  
県女性相談センター  
☎022(256)0965  
(相談専用)  
みやぎ男女共同参画相談室  
☎022(211)2570

## みんなで歩こう！ メイアズウォーク開催

今回で5回目となるメイアズウォークは、東北風土マラソンと同じコースで開催します。布施市長と市健康大使のはっぴーと一緒に歩きますので、皆さんぜひご参加ください。

## 「問い合わせ」登米市民病院 地域医療連携室 ☎0220(22)5511

がん患者さんやそのご家族などが気楽に集まり、お茶や会話を楽しみながら生活の工夫などを語り合える場を開いています。情報交換や交流を通じて悩みや不安を解消し、明るく前向きに自分らしく暮らせる機会にしてみませんか。  
時間内の入室や退室は自由です。お気軽にご参加ください。  
【会場】迫にぎわいセンター  
【開催日】平成28年4月9日(土)／医療関係者とのミニ講和、5月9日(月)、6月13日(月)、7月11日(月)、8月8日(月)

## 「日時」平成28年4月23日(土) 午前10時から 【場所】長沼フットピア公園

※集合場所は迫総合支所正面玄関前。バスで送迎します。  
なお、当日長沼フットピア公園は東北風土マラソン準備のため、当日イベントの駐車場はありません。詳しい内容は市ホームページをご覧ください。  
【申し込み】電話またはメールで、お名前・性別・年齢・電話番号を、お知らせください。  
【申込期限】4月15日(金)

## 「こんにちは 赤ちゃんサロン」

お母さん同士で妊娠中のこと、出産や育児のことについてゆっくり話してみませんか。先輩ママ、助産師や保健師をはじめ、専門スタッフからアドバイスなど役立つ話が聞けたり、友達や育児仲間ができたりますチャンスです。お気軽にご参加ください。  
【対象】市内に在住の妊婦、乳幼児(1歳くらいまで)とその家族  
【時間】午前10時～11時30分(受け付け開始は午前9時40分から)

(月)、9月12日(月)  
【時間】午後1時30分～3時  
【参加費】100円(お茶代)  
【問い合わせ】登米市民病院地域医療連携室  
☎0220(22)5511



「歯の健康は家庭での健康やかな生活習慣から」80歳になっても自分の歯を20本以上保とう！健康寿命の延伸は口の健康」を合言葉に、県と県歯科医師会では「歯つらつファミリーコンクール」8020よい歯のコンクール」を実施します。  
●歯つらつファミリーコンクール  
【応募できる人】  
①親と子の部  
平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に3歳児健康診査を受け、むし歯がなかった本人と、お父さんまたはお母さんのどちらか。  
②ファミリーの部  
平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に3歳

■開催日と内容

	開催日	場所	主な内容
プレママ(妊婦)クラス	4月20日(水)	迫子育て支援センター(迫町佐沼字錦 108番地)	妊娠中の歯のお手入れ、お産の準備
	5月18日(水)		妊娠中の栄養と食育の話、マタニティヨガ
	6月8日(水)		心のトレーニング、家族孫育て
ママ&プレママクラス	5月11日(水)	とめ女性支援センター(迫町佐沼字新大東 125番地)	リフレッシュママ!! 集まれ
	6月15日(水)	南方子育てサポートセンター(南方町新高石浦 130番地)	離乳食を作ってみよう!

【持参するもの】親子手帳(母子健康手帳)、筆記用具  
【申し込み方法】電話  
【申込期限】開催日の前日

# 情報場 Information

## 募集

### 「くらしの便利帳」 有料広告を募集

市では、本年10月に発行予定の「くらしの便利帳」と「防災タウンページ」に掲載する有料広告を募集しています。

昨年同様、市の仕事の担当窓口や各種制度などを紹介した「くらしの便利帳」をN.T.Tの電話帳(タウンページ)宮城県登米市版)と合冊したかたちで発行。併せて、市の避難所や公衆電話マップなど災害時に必要な情報をまとめた「防災タウンページ」を電話帳の別冊付録として新たに発行し、市内毎戸に配布します。

N.T.Tタウンページの担当者から有料広告掲載のご案内と広告案のご提案について市内の商店、事業所へ5月上旬

までに電話させていただく予定です。  
くらしの便利帳などの発行経費は広告収入で賄われますので、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】企画部企画政策課  
☎ 0220(22)2147

※広告の詳細については、左記にお問い合わせください。

▼N.T.Tタウンページ(株)東北営業本部  
☎ 0120-575303  
(通話料無料、平日午前9時～午後5時まで)



### 登米市非常勤職員 (保育士など)の募集

市では保育所で勤務する保育士、放課後児童クラブや子育て支援センターで勤務する指導員を募集しています。

勤務待遇は非常勤職員で、勤務は週5日、1日5時間45分勤務です。報酬月額14万9千円ですが、実務経験年数により増額され、通勤手

当相当分を加算して支給されます。社会保険、雇用保険も完備しています。

勤務時間に都合がつかない人でもパート勤務が可能な場合もありますので、子どもに関わる仕事をしてみたい人は、お問い合わせください。

【応募資格】  
①保育士▼保育士資格を有する人

②指導員▼保育士、幼稚園や学校の教員免許を有する人のほか、大学で心理学や体育学などを専修した人

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課  
☎ 0220(58)5562

### 国家公務員 総合職・一般職採用試験

●総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)  
【インターネット申込受付期間】平成28年4月1日(金)午前9時～4月11日(月)(受有有効)

【第1次試験日】5月22日(日)  
●一般職試験(大卒程度試験)  
【インターネット申込受付期間】4月8日(金)午前9時～4月20日(水)(受有有効)

【第1次試験日】6月12日(日)  
※申し込み方法や受験資格など

### 国税専門官 採用試験

☎ 022(299)8833

【受験資格】①昭和61年4月2日～平成7年4月1日生ま

れの人②平成7年4月2日以降生まれで次に掲げる人(1)大学を卒業したか、平成29年3月までに大学を卒業する見込みの人(2)人事院が(1)に掲げる人と同等の資格があると認めらる人。

【受験申込受付期間】▼インターネット⇨平成28年4月1日(金)～4月13日(水)▼郵送または持参⇨4月1日(金)～4月4日(月)

### 「道路ふれあい月間」の 推進標語を募集

国土交通省では、毎年8月

を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発など各種活動を推進しています。この一環として、平成28年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

【募集テーマ】道路は、生活上と経済発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきたいと思います。

【応募資格】小学生以上  
【応募期限】平成28年3月31日(木)(当日必着)

【応募部門・賞】小学生の部、

### 定住促進住宅入居者を募集

募集する住宅	
定住促進住宅	豊里定住促進住宅1号棟203号(2階)、2号棟306号(3階)(豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額=3万5000円 /駐車場利用は1台まで
	豊里定住促進住宅1号棟502号(5階)、2号棟503号(5階)(豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額=2万5900円 /駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅2号棟506号(5階)(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円 /駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります。詳しくは住宅都市整備課、または各総合支所市民課へお問い合わせください。

【申込期限】平成28年4月8日(金) ※期限厳守  
【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階)  
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅管理係) ☎ 0220(34)2316

### 一人一人の安全意識の向上で事故防止 ～春の農作業安全運動展開中～

近年、過信や慣れによる安易な作業などが重大事故につながっています。もう一度、家族や地域で農作業安全の実践事項を確認し、正しい機械操作で、農作業事故をなくしましょう。

#### 【農作業安全の実践・確認項目】

- ①機械や道具の点検・整備
- ②休憩の取れる無理のない作業
- ③農道を走行する際の路肩状況の確認
- ④農作業や機械作業に適した服装
- ⑤慎重な歩場への出入り、あせ越え
- ⑥点検・調整時は、必ずエンジン停止
- ⑦道路走行に備え、反射板の装着
- 農作業後の泥汚れについて(お願い)

道路に落ちた泥は、通行の妨げになり大変危険です。トラクターなどで農作業をした後に、田や畑から道路へ出る際は、泥を落としてから走行するように心掛けましょう。

【問い合わせ】産業経済部農林政策課(農政企画係) ☎ 0220(34)2716

デイサービス 南方町大門にオープン!! 広告

## 大門いこいの広場

「大門いこいの広場」は、ゆったり、のんびりできる自由な雰囲気。まるで自分の家で過ごしているような「アットホーム」なデイサービスです。

お泊まりもできます!

見学も随時受付中!! お気軽にお電話ください TEL.(0220)23-9541 登米市南方町原5番地

中田町上沼 大柳デイサービス TEL.(0220)34-8778 株式会社 サーパス  
平987-0413 登米市南方町原5番地  
TEL.0220-98-6384 FAX.0220-44-4021

追沼 大錦デイサービス TEL.(0220)23-9339

介護資格が1ヶ月で取得できる! 介護の知識と技術が身につく! 広告

## 『介護職員初任者研修』受講料 79,000円

※税込、テキスト代金 手数料なし分割払いOK!

28年4月開講のお知らせ!

- 7日(木)～平日 ● 昼間コース 全16日
- 12日(火)～火・木 ● 昼間コース 全16日
- 14日(木)～火・木 ● 夜間コース 全35日
- 16日(土)～土・日 ● 昼間コース 全16日

介護のお仕事に就く方にお勧めの資格です。お気軽にお電話下さい。

## ジップス佐沼校

宮城介初第2-46号 介護職員研修事業所

http://jips-sanuma.jp/ ☎ 0220-21-0255

確かな技術で、まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事  
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

## 有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1  
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

## KUMANEN

熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

- アクアショップKUMANEN
- BFCクマネン
- コインランドリー 清潔空間
- なごみの家 きらり

〒987-0511 宮城県登米市追沼佐沼北畝田120番1  
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732  
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

## 登米祝祭劇場 4月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1 金 ～ 29 金	●野家一行 似顔絵展「NIDEPEGA3」 【時間】午前10時～午後5時 (29日は正午まで) 【会場】2階レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
23 土 24 日	●舞台技術講座～照明編～ 【開演】23日午前10時～午後3時 24日午前10時～午後4時 【会場】大ホール 【参加料】千円(要申し込み) ※高校生無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
29 金 ～ 5/5 土 ※5/2日は 休館日	●ピアノであそぼう 【時間】①午前9時②午前11時 ③午後1時30分④午後3時30分 ※5/5の④はありません 【会場】大ホール 【入場料】無料(要申し込み)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
30 土 ～ 5/5 土 ※5/2日は 休館日	●第12回登展 ～登米市民ふれあい美術展～ 【時間】午前9時30分～午後5時 ※5/5は午後3時まで 【会場】小ホール 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111

※入場料金は前売り価格です。また、1,001円以上の催しのほとんどに登米祝祭劇場友の会の会員割引があります。  
※登米祝祭劇場友の会の会員割引は、登米祝祭劇場の窓口で取り扱うチケットに限ります。  
※催しは主催者の都合により変更や中止になる場合があります。  
※4月の休館日は、4日、11日、18日、25日です。

住所を有する子。  
【受給資格者】対象児の出生日の3カ月以上前から引き続き市内に住所を有し、対象児を養育する父母など。  
【受給方法】総合支所市民課窓口で申請手続きをしていただき、後日指定された口座へ振り込みます。  
【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課  
☎ 0220(58)5562

市では、子育て支援事業の一環として、安心して子育てができるよう子育て家庭における経済的負担を軽減するため、満1歳未満の乳児を抱える家族に対し、子育て用品支給券を交付し、紙おむつなどの子育て用品を支給しています。  
平成28年4月1日から、子育て用品の支給品目をこれまでの11品目から16品目に拡充します。

瓶用消毒液、歯ブラシ(ならし・0歳児用)  
【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課  
☎ 0220(58)5562

ファミリー・サポート・センター事業を拡大  
登米市ファミリー・サポート・センター事業は、子育ての助けを受けた人(利用会員)と子育てをお手伝いしたい人(協力会員)がそれぞれ会員登録し、生後おおむね2

カ月から小学生のお子さんを対象として、お子さんの預かりや送迎の支援活動を有料で行う事業です。  
平成28年4月から事業内容を拡大し、預かりや送迎などに加え産前産後のサポートを行います。利用したい人や協力したい人は、お気軽に問い合わせください。  
【拡大内容】出産予定日のおおむね1カ月前から出産後3カ月までの妊産婦を対象として、家事支援などを行います。  
【利用時間・料金】  
①月～金/午前7時～午後7時/1時間600円(以降30分ごとに300円)  
②土日、祝日、年末年始、および①の時間外/1時間700円(以降30分ごとに350円)  
【問い合わせ】登米市ファミリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)  
☎ 0220(58)5558

人と環境への新しい優しさを目指して  
お気軽にご相談下さい

**株式会社 清建**  
環境プロバイダ  
本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3  
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

**株式会社 清建物流**  
TEL.0220-22-9430  
FAX.0220-21-1535  
本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1

**株式会社 リースキン宮城**  
TEL.0220-22-3431  
FAX.0220-22-3495  
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所  
**有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所**  
すずらん託児室  
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728  
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)  
【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

親子で社交ダンス  
受講者募集  
【日時】平成28年4月6日(水)、13日(水)、20日(水) / いずれも午後6時開始  
【場所】(株)東日本開発(栗原市若柳字川南地内)  
※詳しくはお問い合わせください。  
【内容】親子で手を取り合い、

音楽に合わせて踊ります。初心者でも簡単にできますので、安心して始められます。  
【持参する物】室内シューズ  
【参加費】1家族1回500円(1回だけでも可)  
【申し込み・問い合わせ】社交ダンス愛好会(鈴木)  
☎ 080(1672)8485

JICAボランティア  
2016年度春の募集  
独立行政法人国際協力機構(JICA)では、JICAボランティアの2016年度春の募集をします。  
また、募集に併せて体験談&説明会を開催します。お気軽にご参加ください。  
【募集期間】平成28年4月1日(金)～5月9日(月)  
【対象】日本国籍を持つ次の人  
▼青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア 20～39歳  
▼シニア海外ボランティア 40～69歳  
【応募方法】所定の応募書類(健康診断書など)を郵送してください。詳しくはお問い合わせください。  
【派遣中の待遇など】JICA Aの規定に基づき、往復旅費、現地生活費、国内手当などを支給します。

【体験談&説明会】事業概要説明や体験談発表、応募相談、質疑応答などを行います。予約不要、入場無料です(入退場自由)。  
【説明会日程】4月2日(土)、4月14日(木)、4月20日(水) / いずれも午後7時から9時  
【場所】AER(アエル)6階「ネットUセミナールーム」(仙台駅から徒歩2分)  
【問い合わせ】JICA東北(ボランティア募集担当)  
☎ 022(223)4772  
✉ jicaticjv@jica.go.jp

お知らせ  
3子以降のお子さんに誕生祝金を支給します  
少子化対策として出生率の向上を図るため、第3子以降のお子さんの誕生を祝い、健全な発育と福祉の増進を目的に「誕生祝金」を支給します。  
【支給対象・金額】第3子以降に出生した子ども1人につき10万円を支給します。  
※平成28年4月1日以降に出生し、出生した日から市内に

中学生の部、一般の部(高校生以上) / それぞれ最優秀賞1作品、優秀賞2作品  
【応募方法】はがきまたは電子メールに、標語と氏名(フリガナ)、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門を明記し応募してください。1人何作品でも応募できます。  
※小中学校単位で応募する場合は、作品を取りまとめたの上、郵送してください。  
【その他】応募作品は返却しません。入賞作品の著作権は主催者に帰属します。  
【申し込み・問い合わせ】〒100-8918 東京都千代田区霞が関二丁目1-3 国土交通省道路局道路交通管理課(標語担当)  
☎ 03(5253)8111  
✉ fureaigekkan-h2x5@mit.go.jp

ねんきんだより  
4月分から国民年金の保険料が変わります  
平成28年度  
国民年金保険料額(月額)  
◆定額 1万6260円  
◆定額+付加保険料 1万6660円  
国民年金第1号被保険者のうち、現金で納付している人には、4月に国民年金保険料

納付案内書と年間の納付書が送付されます。各月の保険料は納付期限(翌月末日)までに納めましょう。  
※一部免除に該当している人は承認期間が6月までの納付書、7月に7月以降の定額の納付書が送付されます。  
【問い合わせ】市民生活部国保年金課  
☎ 0220(58)2166  
古川年金事務所  
☎ 0229(23)1200  
【ねんきんダイヤル】  
☎ 0570(05)1165

安心・安全・安価で予約承り中 広告  
お料理 2,000円より承ります (バス送迎無料)  
株式会社 刺蒸くまがい  
本社/登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)  
■総合センター/中田総合支所通り TEL.0220-34-8707  
■花泉営業所/一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946

思いやりと真心を感謝の気持ちにこめて 広告  
迫町佐沼中江にセレモニールオープン!!  
さぬま中江齋苑 (ツルハドラック佐沼店様前)  
衣駐車場 80台 病院からの搬送、直接ホールに入れます。  
一式葬儀料金 20万円 どりよも安心・安価  
株式会社 誠香社  
24時間電話受付 23-9270

**4月の納税**

**軽自動車税・・・全期**

忘れずに納めましょう  
納税は便利な口座振替で

**納期限／平成28年5月2日(月)**

**登米市の人口・世帯数**  
(平成28年2月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女		
迫	7,553	10,249	10,899	21,148	(14)
登米	1,799	2,383	2,600	4,983	(▲4)
東和	2,426	3,319	3,440	6,759	(▲17)
中田	4,951	7,720	8,196	15,916	(0)
豊里	2,142	3,360	3,424	6,784	(▲2)
米山	2,852	4,686	4,925	9,611	(▲8)
石越	1,602	2,542	2,618	5,160	(▲5)
南方	2,625	4,274	4,520	8,794	(▲25)
津山	1,201	1,702	1,849	3,551	(▲8)
合計	27,151	40,235	42,471	82,706	(▲55)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

**市内の交通事故発生状況**  
(平成28年2月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H28	H27	増減数
人身事故発生件数	39件	42件	▲3件
死者数	0人	0人	0人
負傷者数	51人	66人	▲15人
物損事故発生件数	291件	271件	20件

※平成28年1月からの延べ件数

**警察署からのお知らせ**  
○県内で車と歩行者の交通死亡事故が連続発生しています。夜間の発生が多く、9割が夜間に発生。夜間の死傷者の反射材着用率は1～2割で極めて低いです。  
夜間外出する際は、反射材やLED交通安全ライトを使用しましょう。

**市内放射線の測定結果**  
測定日:平成28年3月7日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.06	曇り
消防署北出張所(石越)	0.06	曇り
消防署東出張所(東和)	0.04	曇り
消防署津山出張所	0.05	曇り
消防署南出張所(豊里)	0.06	雨
消防署西出張所(南方)	0.05	曇り

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

て閉所します。  
4月からは中田児童館で子育て支援センター事業を行いますので、中田児童館をご利用ください。

【**事業移動先**】中田児童館(加賀野小学校前)／中田町石森字加賀野一丁目17-3  
※新しい場所での開設準備のため、臨時に閉所する場合があります。

【**問い合わせ**】中田児童館 ☎0220(35)2525

**固定資産価格等縦覧帳簿 縦覧のお知らせ**

平成28年度固定資産価格等縦覧帳簿が次の通り縦覧できます。縦覧制度は、自分の固定資産の価格が適性か判断するために、土地または家屋の価格を縦覧帳簿で確認できる制度です。  
【**期間**】平成28年4月1日(金)～5月31日(火)  
※土日、祝日を除く  
【**時間**】午前8時30分～午後5時15分  
【**場所**】各総合支所市民課  
【**縦覧できる人**】固定資産税(土地、家屋)納税者  
※代理人の場合は委任状が必要です。

【**問い合わせ**】総務部税務課

**行政不服審査法が改正されます**

改正行政不服審査法(平成26年法律第68号)が公布され、平成28年4月1日から施行されます。より国民の権利利益の救済を目的とした今回の改正点は次の通りです。  
【**審査請求期間の延長**】従来の不服申し立ての期間は60日でしたが、3カ月に延長になります。  
【**審理員の設置**】行政処分に関する手続きに参与していない職員の中から「審理員」が選ばれ、中立的な立場で事実関係など争点を整理したものを審理員意見書として作成します。  
【**第三者機関の設置**】情報開示請求などにおける「情報公開・個人情報保護審査会」と同様の外部チェック機関として「行政不服審査会」が新たに設けられ、審査請求のあった行政処分などの妥当性について審理員意見書を参考に審査し、市長に答申する仕組みが加えられます。この答申を受けて審査請求に対する裁決が行われます。

【**審査請求先**】登米市のよう

**相 談**

年金相談に応じます  
年金相談所を開設  
年金の相談に応じます。相談は完全電話予約制です。前日までにご連絡ください。  
※予約の際に「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」

な地方自治体の場合は、審査請求先のひとつが市長宛て(通知書などの発行部署)になります。場合によっては県知事などもありますので、決定通知書下欄の注意書きなどをご確認ください。

**街なみ景観整備事業 補助金を見直します**

登米市登米町「みやぎの明治村」周辺の景観保全や、統一された街なみ形成を進めるための支援策として活用されている街なみ景観整備事業の対象区域を見直すとともに、対象事業や補助金額を拡充します。詳しい内容についてはお問い合わせください。

【**問い合わせ**】建設部住宅都市整備課 ☎0220(34)2316

**登米市役所の 行政組織を改編します**

本年度策定した「第二次登米市総合計画」の重点戦略を推進する組織体制とするため、平成28年4月1日から行政組織の一部を改編します。本庁の主な改編内容は、移

住・定住施策をソフト・ハード両面から一体的に推進するとともに、少子化対策を組織内で連携して取り組む体制とします。また、第二次産業の育成・支援を強化するとともに、市街地の土地・住宅利用などを計画的に推進する体制とします。

産業経済部と建設部に係る総合支所業務のうち、集約可能な業務を整理し、本庁業務として行う体制とし業務の効率化を進めます。  
具体的には、地域イベントを除いた農林・商工に関する業務を産業経済部へ集約します。また、災害時の対応や除雪などを除いた、道路・河川・市営住宅の維持に関する業務を建設部に集約します。  
4月1日から本庁に集約する業務をスムーズに移行するため、4月から6月までの3カ月間、支所での受け付けも引き続き行うことにしますのをご理解をお願いします。  
なお、右記以外の窓口業務や健康相談などは引き続き総合支所で業務を行います。

【**問い合わせ**】  
○組織改編 総務部人事課 ☎0220(22)2145  
○産業経済部集約業務

**催 し**

【**申し込み・問い合わせ**】宮城県土地家屋調査士会登米支部長(千葉三郎) ☎0220(55)2032 (FAX兼用)  
【**申し込み・問い合わせ**】高倉勝子美術館 春の特別企画展「春彩展」  
【**期間**】平成28年4月1日(金)～5月22日(日)午前9時～午後4時30分  
【**場所**】登米市高倉勝子美術館  
【**料金**】大人200円、高校生150円、小中学生100円  
【**内容**】春の訪れを感じさせる彩り豊かな花々と音色を奏

産業経済部農林政策課 ☎0220(34)2716  
○建設部集約業務 建設部土木管理課 ☎0220(34)2365

**住宅用新・省エネルギー 設備導入支援事業補助金**

市では、住宅に太陽光発電システムなどの新・省エネルギー設備を設置する人に、設置費用の一部を補助します。  
【**対象事業**】  
①住宅用太陽光発電システム設置事業  
②設置用リチウムイオン蓄電池設置事業  
③木質バイオマス(ペレット、まき)暖房機器設置事業  
【**対象者**】▼市内に住所を有する(予定を含む)個人で、補助対象機器を設置する建物を住宅として使用する人▼交付決定日以降に補助対象機器の設置を行う人または引き渡しを受ける人▼全ての市税に滞納がない人▼当該補助金の交付をこれまでに受けていない人

【**補助対象経費**】  
①太陽電池モジュール、架台、パワーコンディショナ、その他附属機器、設置工事に係る費用など

【**申し込み・問い合わせ**】登米市高倉勝子美術館「桜小路」 ☎0220(52)2755  
【**日時**】平成28年3月23日(水)午後0時20～40分  
【**場所**】市役所迫庁舎(1階ホール)  
【**内容**】子育て応援バンド「ひだまり」の演奏、ママの合唱、親子ダンスなど  
【**出演者**】0～4歳くらいの幼児と親  
【**問い合わせ**】NPO法人すくすく保育研究所(堀田) ☎0220(34)6677

**H@FM子育て応援番組「キューハグ」コンサート**

【**日時**】平成28年3月23日(水)午後0時20～40分  
【**場所**】市役所迫庁舎(1階ホール)  
【**内容**】子育て応援バンド「ひだまり」の演奏、ママの合唱、親子ダンスなど  
【**出演者**】0～4歳くらいの幼児と親  
【**問い合わせ**】NPO法人すくすく保育研究所(堀田) ☎0220(34)6677

# 工藤 開

第59回全日本大学  
空手道選手権大会(団体)優勝  
近畿大学4年



## Kudo Kai

1993年12月2日、迫町生まれ。佐沼小2年の時に和道会はさまに入団し、持ち前の運動神経と勤のよさですぐに頭角を現す。県内、東北では連戦連勝し無敵を誇った。中学卒業後は、東北工大高(現仙台城南高)へ進学し、インターハイ、国体などで活躍。高3時のインターハイで自身初の8強入りと高校生以下の日本代表入りを果たす。2012年近畿大へ進学。2年で先発メンバー入りを果たし、大学選手権3連覇に貢献。日本代表に選出されている。父、母、兄の4人家族。身長178<sup>cm</sup>、80<sup>kg</sup>、血液型B型。尊敬する格闘家は魔裟斗。

**試** 合終了の瞬間、工藤は叫びながら拳を突き上げ、あふれる涙を拭いた。コートの外では、仲間が飛び上がり、喜びを爆発させた。

「気づいたら優勝して、気づいたら泣いていて、気づいたら監督を胴上げしていた。試合後、ビデオで自分の行動を見て驚いた」と、優勝後の出来事をほとんど覚えていなかった。

「第59回全日本大学空手道選手権大会(以下、インカレ)」は11月23日、大阪市港区の大阪市中央体育館で開催され、近畿大が京産大を破り、3年連続15回目の優勝を果たした。

今大会、最大の山場は準決勝関国士館大戦。これまでと打って変わり、土俵際まで追い込まれてしまう。

近大は、茂矢、日本代表に選ばれている工藤と西村の3本柱が勝ち星を上げリズムを作る。これまで、1人も勝ち星を上げられない試合はなかった。しかし、先鋒茂矢が引き分け、次峰山城は大差をつけ勝利するも、中堅西村がまさかの敗戦。1勝1分け1敗で出番が回ってきた。常には、大将で登場する工藤。しかし「決勝に向けて体を動かしてこい」と監督の指示により副将で出場した。いつもと違う順番、柱2人の負け越しに、らしい試合展開を見せる。

いつもならば、勝って試合を決めるだけ。今回は後ろにもう1人控えている。無理はせず、大将勝負でよいのでは。そんな考えが頭をよぎり、引き分けに終わる。1勝2分け1

敗の五分の星で、大将船橋に命運を委ねた。船橋も全国優勝の経験がある実力者。負けることは考えづらい。しかし、そこに落とし穴が。

常に先攻を許してしまい、2-3とリードされたまま、試合時間は残り3秒に。誰もが国士館大の勝利を確信した瞬間、船橋の突きが決まり、3-3の同点に追いつく。試合はそのまま終わり、辛くも内容差(ポイント数が多い)での勝利。チームに笑顔はなかった。

「全員が重圧を感じ、いつも通りに動けなくなっていた。このままでは優勝できない」と工藤は、女子メンバーも含め全員を招集。ミーティングを開き「何のための苦しい練習だったんだ」と、部員と自身にげきを飛ばした。

**決** 勝戦、メンバーの表情は見違えるほど気力に満ちていた。5分の星で迎えた大将戦、負ければ優勝を逃す大一番も、気迫の突きで日本代表の大西を倒し、創部70周年、3度目の3連覇を勝ち取った。

創部70周年の節目、求められる結果は最低でも優勝、最高でも優勝。「本当にきつい1年だった。節目の優勝は使命。周囲の期待は非常に大きく、目の前の敵だけではなく、見えない重圧とも戦ってきた。主将として、部員の前で絶対に弱音は吐けな。この結果はうれし半分、ほっとしたのが半分」と、自身を楽天的でひょうひょうとしてしていると評する工

藤には似つかわしくない言葉だ。それだけ、このインカレに駆ける思いは強かった。

「これで、お世話になった監督やコーチ、OBなどの関係者、家族や和道会の皆さんに少しは恩返しができたいと思う」と、工藤は照れくさそうに感謝の気持ちを口にする。

小2で空手を始め、すぐにそのとりになった。「練習すればするほど強くなっていく。ほかのスポーツは考えられなかった」と空手との出会いを振り返る。

小中学校時代は、東北で無敵を誇った。しかし、全中やインターハイでの個人戦では結果が残せず、高校では8強が最高の成績だ。日本一を目指し、大学最強の近大を選択。「近大しか考えられなかった。強くて立ち居振る舞いもかっこいい。どんなに厳しい練習でもついて行くと覚悟を決めていた」。

1日、2部、3部の練習は当たり前。空手道部は寮生活のため、息を抜く暇はない。大3の時には、日本代表合宿中に烏口鎖骨靭帯を完全断裂。現在も靭帯は切れたまま。困難もけがも全て、絶対日本一になるという強い気持ちで乗り越えてきた。「練習もけがもなんとかなるって思っていたらなんとかなった」と人前で苦労は絶対に見せない。

**大** 学卒業後の目標を聞いた。「4年後の東京五輪を目指す」  
現在空手は、東京五輪の追加種目

最終候補に残っている。世界での競技人口も多く、正式種目になる確率は非常に高いといわれている。

4年後は26歳。選手としてピークを迎える。この最初で最後のチャンスに全てをかける。

工藤は、マイナス84<sup>kg</sup>級で日本代表に選出されている。この階級には、現在全日本2連覇、先日開催されたアジア大会で優勝した、空手界の絶対エース荒賀龍太郎がいる。「彼は空手家の憧れ。国内だけではなく、世界でも人気がある。自分もその一人だった」と語る。代表入り当初は「練習を教えてほしい」と思い、実際教えを受けた。しかし、近年その気持ちに変化が。

「荒賀さんから1ポイント取って本気を出させたい」「憧れのままで先がない。五輪代表は狭き門。そこを目指すには、どんな相手でも倒さなければならぬ。今の自分には、荒賀さんは憧れではなくライバル」ときっぱり。

**工** 藤は「今のままでは世界で勝てない。これまでの型を捨てて、世界仕様に自分を変えていく」と徹底的に空手と向き合う覚悟だ。

常に「何とかなる。どうとかなる」と考える工藤。性格はそうかもしれない。しかし、行動を起こしたときは「何とかする。どうにかする」で結果を出してきた。4年後、「何とかかなりました」と、笑顔でインタビュアーを受ける工藤の姿が目につく。



# ときめき人

Tokimeki bito



## みその技術継承 とさらなる発展 のため尽力 目指すは日本一

東和町・米川2区

### 佐藤 健治さん

さとう・けんじ  
1959年生まれ 血液型/B型

#### Profile

1983年、ヤマカノ醸造株式会社に入社。入社以来一貫してみそ製造に携わり、2005年から味噌製造部長を務める。また、2012年からは味噌製造部兼調味料製造部の部長として幅広く統括する。趣味は散歩。四季折々の景色や空気、自然を感じながら歩く。家族は、妻、長女、両親の5人。



「受賞はうれしいが、正直自分はまだまだ。技術の向上はもちろん、後輩の育成などすべきことはたくさんある」と謙虚に話す佐藤さん。

長年にわたり同一職業に従事し、卓越した技能で業界の振興に寄与した人を表彰する「2015年度県卓越技能者(宮城の名工)」に選ばれました。

24歳でヤマカノ醸造に入社。入社後は小野寺裕さん(2006年「現代の名工」・厚生労働大臣表彰を受賞)指導の下、みそ造りの奥深さに引き込まれ技術を習得。「みそ造りは微生物という“生きもの”を扱う繊細な仕事。気候や原料の品質など、仕込みの条件は毎日変わる中、安定して上質なみそ製造が求められる。今はデータで管理しているが、いまだ試行錯誤の日々」と話します。

佐藤さんは「1級みそ技能士」の資格を持ち、

小学校などで出前講座の講師も務めます。「食生活の変化などで、毎朝みそ汁を飲む人は少なくなっている。みそは日本食の万能調味料。発酵食品には高い栄養価などがあり、その良さをもっと多くの人に知ってもらいたい」とみその普及にも力を入れています。

仙台味噌は、うまみが濃厚で、長期熟成によって作られる香りが特徴。ヤマカノ醸造は、色・香り・味など優秀なものに賞が贈られる『本場仙台味噌醤油鑑評会』で2010年から史上初めて5年連続1位を獲得しました。「受賞は作り手の励みになる」と笑顔で話す佐藤さん。

今後の目標は「日本一のみそをつくること。県ではなく全国で1番になる」。卓越した技術とみそに傾ける熱い気持ちで常に高みを目指します。

## 編集後記

▼広報とめが全国広報コンクールに推薦されました。これは、取材に協力いただいている市民の皆さん、印刷屋の皆さんなど、多くの人たちの力があつたからこそ。ありがとうございます。これからも毎月必要とされるTOMEを届けられるよう頑張っていきたいと思います。(及川)

▼暖かな日差しと風のぬくもり、春の足音が聞こえ始めました。3、4月は卒業や入学、転勤などいろいろな出会いと別れが待っています。私たちは取材などで日々たくさんのお会いがあります。今後「一期一会」の気持ちで取り組んでいきたいと思えます。(佐藤)

▼3月5日、登米祝祭劇場で開催された「夢フェスタ水の里」の取材に行ってきました。今回の題材は「登米の秋まつり」。340年続く伝統の祭りで、宮城県指定無形民俗文化財に指定されています。出演者の演技や会場全体を使った演出に感動しました。次の舞台も楽しみですね。(田代)



モバイルとめ  
(携帯電話版ホームページ)  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス  
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

